

NPO法人ありんこに
 関する詳しい情報は
 公式ホームページ
 arinno.sakura.ne.jp
 にて公開中！！

ありんこだより

発行 NPO法人ありんこ編集部
 編集責任者 一戸 由佳
 住所 青森県弘前市大字富栄
 字笹崎80-1
 電話 0172-96-2774
 Fax 0172-55-9591

第8回ありんこまつりにむけて



いよいよ7月6日(土)午後5時30分から、毎年恒例のありんこまつりを開催します。現在毎日限られた時間の中で、やよあかスタッフが中心に準備を進めています。今年は利用者子どもたちもボランティアとして活動！ポスター作り、立て看板作り、そしてパソコンを使ってのプログラム作りなど、それぞれの得意な部分で大活躍してくれています。

ポスターは既に関係の学校や事業所に掲示していただいておりますので、ぜひご覧になってください。どれも力作です。

現在ボランティアの方を募集しています。今年はいつもお願いしている弘前大学水泳部の学生さんが、大会と重なって、少人数の参加なため、人数の確保に苦労しています。

今からでも7月6日(午後3時から)手伝えるよという方がいらっしゃいましたら、やよいのあかりまでご連絡ください。高校生、専門学校生のボランティア参加も大歓迎です。

第8回ありんこまつり

7月6日(土)午後5時30分～午後7時30分まで。恒例の生ビールや焼き鳥、焼きそばなど、当日券もあります。(お車でお越しの方はアルコール類の提供をお断りいたします。)

今年はステージも豪華。ゲストにやよあかカンタービレ♪withカンパニー・弘前大学津軽三味線サークル・弘大囃子組・フォークローレデュオ「ワイラ」の皆さんをお迎えし、賑やかに開催します。もちろん雨天決行。でも、できれば晴れてほしい～。

お楽しみの豪華景品の当たる？大抽選会もあります。参加料は100円ですよ！！

祝 弘前市市民参加型まちづくり1%システム採択決定！

弘前市民協働政策課担当者のご指導の下、約1ヶ月半を費やし書類を申請。いよいよ迎えた6月16日(日)公開プレゼンテーション当日。発表者の理事長は北海道・東北地区特別支援学校PTA合同研修会に参加後、札幌から飛行機で昼頃に帰ってくる予定でした。しかし、青森空港が濃霧のため仙台空港に着陸するというまさかのアクシデント！急遽、同行予定だった事務職員(頼りになるのです)が代わりにプレゼンテーションすることに…。理事長のアクシデントをもネタにして審査員の笑いを誘い、掴みはOK！無事に採択の運びとなりました。貴重な弘前市の税金を活用させていただき今回のありんこまつり。例年以上に充実した祭りとなるよう、気を引き締めてまいります。



皆さんはHug便(はぐびん)というサービスをご存知ですか？弘前市のhug work(ハグワーク)という障がい者の「働く意欲と気持ち」を育てながら積極的に社会参加できることを目指したプロジェクトの一つで、弘前市役所内にオープンした障がい者就労支援アンテナショップとともに、商品を販売しています。

やよいのあかりの職員が応援の意味も込めて購入してみました。1回目の頒布は就労サポート弘前さんの豆乳プリンやお豆腐、おからの詰め合わせで、どれも絶品です。これから毎月1回、全部で5回、いろいろな就労支援施設から届くのが楽しみです。詳しくは弘前市役所ホームページでご確認ください。

わたしのおススメコーナー ③ 副理事長 藤田 公和子

弘前市紙漕町にあるカフェ「集会所indriya(インドリア)」さんを紹介します。indriyaとは、サンスクリット語で「根(こん)」を意味するとか。六根清浄の根ですね。肉や魚を使わない、ベジランチの食べられるお店だそうです。

名前の通り、集会的に、同じ趣味の方たちが集ったり、ヨガ教室の定期開催があったりと、普通のカフェとは一味違います。

何かの集まりの時に使ってみるのも良いかもしれませんね。



理事長のつぶやき

「リスクマネジメント」

今年私は弘前第二養護学校のPTA会長を務めている。札幌で、東北・北海道地区の特別支援学校肢体不自由合同研修会があり、参加した。日程は木、金だったが、実家が札幌市内なため、これ幸いと帰省も兼ね、日曜日に弘前に戻ることにしていた。日曜日の午後には弘前で補助金事業のプレゼンテーションがあったため、予定の飛行機を午前の便に変更し、札幌千歳空港を午前11時45分に出発。12時30分には青森に到着の予定が、青森空港は濃霧のため、先に着いていた2機が上空で旋回待機中。私たちが13時20分くらいまで、上空でグルグル。結局着陸を試みるも滑走路が見えませんでした(機長談)とのことで、行き先を仙台空港に変更。14時20分ようやく仙台空港に。当然プレゼンテーションには間に合わず、一緒に行く予定だった事務職員にピンチヒッターをお願いすることに。プレゼン原稿を渡していなかったため、空港で急きょ原稿を写メって送り、とてもバタバタして迷惑をかけてしまった。

今回のような場合、あらかじめ私がプレゼンできない場合に備えて、①誰に代役を頼むか決める。②原稿を関係者全員で共有。を最低限事前に行っておかなければならなかったと猛反省した。

今年はいろいろと県外に出ることも多くなる。不在の時に、残された職員が困ることのないように、リスクマネジメントをすることは、上に立つものとしてとても大切なことだと痛感した出来事だった。

が、なにはともあれ、無事に採択されて良かった。